

「ものづくりにおける生成AIの活用」

開催期間：2024年 5月 15日(水) - 5月 31日(金)

申込締切：2024年 5月 28日(火)

近年、生成AIの革新的な進歩はIT分野のみならず、文書や画像の生成、サービスや交通に至るまで様々な分野への社会実装が進んでいます。ものづくり分野においても、いち早く事業に生成AIを利用し、効率化や新たな付加価値の創造に活用する試みはますます増加しています。その一方で、AIによる生成物の著作権や知的財産権等の問題はより一層複雑となっており、生成AI技術の利用において数多くの警鐘が鳴らされています。本講習会では、生成AIに関する活用事例や昨今の生成AIを取り巻く社会環境について熟知したエキスパートを講師としてお招きし、ものづくりの現場で活用できる生成AIの最新事例や、基礎から学ぶ知的財産と生成AI著作物等についてご講演頂きます。皆様が生成AIを利用する際の有益な情報になりましたら幸いです。皆様のお申し込みをお待ちしております。

開催期間：2024年5月15日(水)10時00分～2024年5月31日(金)17時00分

視聴方法：本講習会はBoxというクラウドサービスを用いてオンライン開催いたします。

Box内の指定フォルダへアクセスすることで、オンデマンド形式での閲覧が可能になります。

講習会テキスト：Box内の指定フォルダへアクセスすることで、講習会テキストのダウンロードが可能になります。

*視聴およびテキストダウンロード用のURL情報は、参加申込時に登録いただいたメールアドレスに追ってご連絡いたします。

【注意事項】

- 本講習会での講演に対する質問は、アンケートにて承ります。ただし、本講習会のテーマと関係がない質問はお控え下さい。
- 視聴用URLは講習会に登録された参加者のみ利用可能とし、再配布を禁止いたします。また受講者は、動画の録音や画像のキャプチャーおよびそれらのSNSなどへの投稿を禁止いたします。もし発見された場合、事務局は削除を要求できることとします。
- 動画視聴等に関わる技術サポートは提供いたしません。また、視聴中に視聴期間を過ぎると再生できませんのでご注意ください。
- Box利用の際に、無料のアカウント登録が必要となります。セキュリティ設定等によりBoxにアクセスできない場合がございますので、参加申込前に下記URLのテスト動画により動作確認をお願いいたします。

*テスト動画URL：<https://jspe-jp.app.box.com/s/i3fdvivph2cq74whfid82mpyyzas0dp>

企画担当者：伊東 聡（富山県立大学）、武井 良憲（産業技術総合研究所）、道畑 正岐（東京大学）

次 第：(予 定)

題 目	内 容	講 師
生成AIの概要と国内整備状況	生成AIが、近年積極的に開発されている。東工大や産総研で、日本語に強く、オープンかつ高性能な大規模言語モデルを構築した。生成AI一般について、および国内外の開発状況と展望を紹介する。	東京工業大学 情報理工学 情報工学系 知能情報コース 教授 岡崎 直観
儲かるカーボンニュートラルと生成AIの活用	カイゼン活動には見える化だけでなく問題解決ノウハウの共有が必須である。旭鉄工で大きな成果を出した「儲かるカーボンニュートラル」の概要と、生成AIによるナレッジマネジメント事例について紹介する。	旭鉄工株式会社 /i Smart Technologies株式会社 代表取締役社長 木村 哲也
生産・物流・家庭分野におけるAI画像認識の最先端	労働力人口減少への対抗策として、生産・物流・家庭の3分野におけるAI画像認識が期待されている。本講演では、画像認識、生成AIとそのロボット教示への適用など、実利用を目指した技術開発成果を紹介する。	中京大学工学研究科長 ヒューマン・ロボティクス研究センター長 教授 橋本 学
ジェネレーティブAIと完全自動化がもたらす製造業の未来	NCプログラムをはじめ切削加工の全工程を完全自動化するアルム。ARUM Factory365 とは何か、アルムが目指す完全自動化とは何か、について解説する。	アルム株式会社 代表取締役社長 平山 京幸
ものづくりにおける生成AIの活用と知的財産権一著作権、意匠権および商標権	社会において生成AIが広く普及するに伴って、デジタルコンテンツの生成は容易になり、その量も増加の一途をたどっている。一方で、知的財産権などの権利関係はより複雑化してきている。本講演では、知的財産権の基礎から近年の動向について解説する。	富山大学学術研究部 社会科学系（経済学部）教授 神山 智美
生成AIと知的財産法を巡る諸課題について	生成AIの構築・利用を巡っては、既存の様々な情報を不可避的に用いるため、知的財産法の下で保護される他人の諸権利を侵害する可能性について、大きな懸念が世界中でもたれており、今後の生成AIの幅広い利用と発展にとって大きな課題となっている。ここでは、知的財産法の概要の説明を踏まえ、生成AIの構築・利用を巡る知的財産法における課題や議論状況を簡潔に解説する。	青山学院大学 法学部 教授 平嶋 竜太

主催：公益社団法人 精密工学会 企画：事業部企画第3グループ

協賛（予定）：SME日本支部/応用物理学会/型技術協会/計測自動制御学会/研削砥石工業会/研磨布紙協会/産業技術総合研究所/失敗学会/自動車技術会/首都圏産業活性化協会/全日本プラスチック製品工業連合会/素材センター/ダイヤモンド工業協会/TAMA-TLO/電気加工学会/電気学会/砥粒加工学会/日本液晶学会/日本オプトメカトロニクス協会/日本金型工業会/日本機械学会/日本機械工具工業会/日本木型工業会/日本金属学会/日本金属プレス工業協会/日本光学会/日本光学測定機工業会/日本工作機械工業会/日本合成樹脂技術協会/日本材料学会/日本精密機械工業会/日本精密測定機器工業会/日本セラミックス協会/日本塑性加工学会/日本鍛造協会/日本ロボット学会/プラスチック成形加工学会/人工知能学会/情報処理学会/電子情報通信学会

*協賛団体にご所属の方は会員価格にてご参加いただけます。

定 員：制限なし

参加費：会員（賛助会員および協賛団体会員を含む）22,000円、学生会員2,200円、非会員36,300円（同時入会申込で参加

費割引特典あり、詳細は事務局・講習会係までお問い合わせ下さい）、学生非会員7,700円（会員・学生会員・非会員・学生非会員とも講習会テキスト代含む）*参加費・講習会テキスト代とも消費税を含みます。*賛助会員参加無料券をお持ちの方は是非ご利用下さい。

資 料：別途ダウンロード講習会テキスト希望の場合は1冊3,300円

申込方法：ホームページ（https://www2.jspe.or.jp/form/koshukai/koshukai_form.html）からお申込み下さい。

申込先：公益社団法人 精密工学会（〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F、電話03-5226-5191、FAX03-5226-5192）

お申込み→
フォーム